

何を使う

機器 タブレットまたはパソコン

ソフトウェア（アプリ）

ロイロノート・スクール



それをどう使う（それで何ができる）

- ・1人1台端末の学習環境に適した授業支援クラウド。
- ・教師用タブレット端末から、児童生徒の記述の様子を個別に把握することができる。
- ・教師用タブレット端末から選択した児童生徒の考え等を提示し、学級全体で共有することができる。



【即時に生徒の取組状況を把握】

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 数学科「平方根 根号をふくむ式の計算」

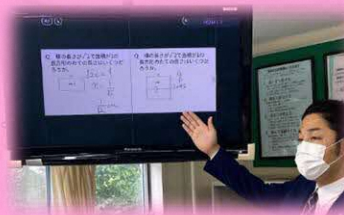
【 Before 】

- 生徒の考えを比較・検討させるために、生徒の考えを板書する。



【 After 】 メリット

- 複数の生徒の考えを即時に提示し、比較・検討させることにより、生徒が焦点化した課題について考える時間を十分確保することができ、よりよい解き方を考えようとする力が育成される。
- 生徒が提出した課題等をPDF形式で保存し蓄積することにより、学習評価や授業改善に活用することができる。



【導入における課題の焦点化】

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学 習 場 面	一 斉	個 別	協 働
		○	○	提示なら大型提示装置		○	○	○
	1人1台							
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	全教科		
	○	○	○	○	活用が想定される場面	発表や話し合い、意見 整理等		